

リハビリテーション学科

【科目名】		心理学統計法	【担当教員】	阿久津 洋巳
【授業区分】	専門分野(公認心理師養成科目)	【授業コード】	(メールアドレス)	
【開講時期】	前期	【選択必修】	必修 hakutsu@nur05.onmicrosoft.com	
【単位数】	1	【コマ数】	15 (オフィスアワー) 12:50～13:30(火～木)	
【注意事項】				
(受講者に関わる情報・履修条件)				
本科目は、「公認心理師」養成の必修科目です。教科書を使って予習復習すること。				
(受講のルールに関わる情報・予備知識)				
統計では沢山計算をしますが、今日ではコンピュータを使います。この授業では無料のソフトのRを使います。毎回宿題が出ますので、復習の時間を確保してください。試験問題には宿題の課題と類似した問題が出ます。数字を扱うのが苦手な人は、毎日復習をして早く数字の扱いに慣れましょう。宿題のレポートは必ず指定した日までに提出すること。試験結果とレポートは他に支障のない限り返却します。				
【講義概要】				
(目的)				
「公認心理師」資格受験に必要な大学における学修として以下の点を身につけてください。				
心理学で用いられる統計手法				
統計に関する基礎的な知識				
当該科目と学位授与方針等との関連性; A-2				
当該科目と学位授与方針等との関連性; R-2				
(方法)				
データを上手にまとめる記述統計をまず学習します。次に、データから未知のことを推測する推測統計を学習します。毎回課題を与えます。課題はデータを分析して、レポートを書くことです。課題を使って統計技能を修得するという形式で学習を進めます。				
【一般教育目標(G10)】				
基本的な統計計算と作図法を習得し、定量的な考え方を身につける。また、統計を通して、科学的合理的な判断方法を学習する。				
【行動目標(SB0)】				
代表値、散布度、相関、確率分布、母集団と標本、統計的検定の概略について説明できる。データを統計的に分析して、その結果を図と表を交えて文章で記述することができる。				
【教科書・リザーブドブック】				
小島寛之(著) 完全独習統計学入門 ダイアモンド社、2006年、¥1800				
【参考書】				
大村平(著) 統計のはなし、日科技連出版社、2002年、¥1836				
村井・柏木 著 ウォームアップ心理統計、東京大学出版会、2008年、¥2160				
山田・村井(著) よくわかる心理統計、ミネルバ書房、2004年、¥2800				
【評価に関わる情報】				
(評価の基準・方法)				
成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。出席点は評価に含みません。試験、小テストと課題レポートの成績を総合して評価する。小テストは頻繁に実施する。				

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		30	30	40					100
評価指標	取り込む力・知識	10	10	10					30
	思考・推論・創造の力	20	20	20					60
	コラボレーションとリーダーシップ			10					10
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1	記述統計：代表値と散布度	講義	平均、ヒストグラム、分散、標準偏差を説明できる。	120
2	記述統計：分散と標準偏差	講義	標準偏差の式を書ける。Rを使って平均と標準偏差の計算ができる。	120
3	記述統計：平均と標準偏差の計算、グラフの作成	講義、実習	ヒストグラムを作成できる。平均を計算できる。標準偏差を計算できる。	120
4	記述統計：グラフの作成、Boxplotの作成	講義、実習	Rを使って、代表値と散布度を計算できる。ヒストグラム、Boxplotを作成できる。	120
5	離散分布と連続分布：正規分布を中心として	講義	二項分布と正規分布の違いを説明できるか。	120
6	連続分布：正規分布の応用	講義、実習	偏差値を計算できる。標準正規分布表を読める。	120
7	正規分布を使った区間推定(1)	講義	信頼区間を説明できる。	120
8	正規分布を使った区間推定(2)	講義、実習	95%信頼区間を計算できる。	120

9	標準正規分布を使った統計的検定(1)	講義	z検定を説明できる。	120
10	標準正規分布を使った統計的検定(2)	講義、実習	z検定を実行できる。	120
11	標本と母集団	講義	標本と母集団の違いを説明できる。	120
12	推測統計：代表値と散布度	講義、実習	t検定を使える。F検定を使える。	120
13	t検定の実際	講義	t検定を使える。	120
14	相関	講義、実習	相関係数を計算できる。	120
15	回帰	講義、実習	回帰分析を実施できる。	120